

昨年に続き2回目のエントリーとなります。これまでご指導してくださった藤谷先生と西脇さん、久留米大学の学生さんに心より感謝申し上げます。

さて今回は「モンサンミッシェルの夕景」と題しました。沢山の穴が開いていますが、一個一個の穴も全部手作業で、土が生での作業なので神経を使う仕事です。素焼きして本焼きの前の色を付ける時はかなりの繊細な作業となります。表面は西脇さんが仰ったように中の電球を、沈む夕日と見立て夕焼けのモンサンミッシェルをデザインしました。裏面は丸きり違う、大空にうち上げられた花火模様になっています。

電球に灯りを点けますと、部屋が明るい時は夕景ですが、部屋を暗くしたら一瞬で夕方の景色が夜景に変わります。暗い部屋の中に夜空の星と、モンサンミッシェルからの灯りが、水面に映し出され、その光は、繊細で優しくて、大胆な世界を演出してくれます。私はこれが表現したかった部分です。

その光と影には日常の喧騒を忘れ、癒しの世界に浸ることが出来ます。置く場所は皆さんご家族の集まる居間ではご家族のなごみに一役買うことでしょうか。又購入して頂いた方からお聞きしたのですが玄関に置けば、帰宅したときに入りタイマーにしておくことと防犯の役に立てることと、明るいおうちに帰れるのがとってもホッとできて嬉しい気持ちになるとのことでした。仕事に疲れて暗いお部屋に帰るのより、明るいお部屋に帰るのでは段違いですね。

他には、床の間に置きますと言われた方もいらっしゃいました。お部屋のコーナーや、少し暗くて明るくしたいと思う場所など少しも選びません。世界で一つだけの作品です。